宇佐美まゆみ、李恩美、鄭榮美、金銀美(2007)「基本的な文字化の原則（Basic Transcription system for Japanese: BTSJ)」の韓国語への応用について」『談話研究と日本語教育の有機的統合のための基礎的研究とマルチメディア教材の試作』平成 15-18 年度科学研究費補助金基盤研究 B(2)研究成果報告書(課題番号　15320064):48-82．35 頁．2007 年 3 月．

基本的な文字化の原則（Basic Transcription System for Japanese: BTSJ）の韓国語への応用について

宇佐美まゆみ・李恩美・鄭榮美・金銀美

0. はじめに

本稿は、人間心理と対人コミュニケーションのメカニズムを解明するための有用なデータとしての自然会話を研究するために考案された「基本的な文字化の原則 (Basic Transcription System for Japanese: BTSJ、以下 BTSJ)」（宇佐美 1997、2003、2006、2007）の韓国語版を作成するプロセスの中間報告である。BTSJ の韓国語版(Basic Transcription System for Korean: BTSK、以下 BTSK)は、BTSJ を翻訳し、基本的に BTSJ と同じ観点や構成にしているが、韓国語の特徴上、必要となってくる追加点や一部変更点がある。本稿は、BTSK について現段階で検討したことをまとめたうえで、BTSK 作成に向けた試作版への一案を示したものである。

ここではまず、BTSJ の概要と韓国語の特徴を簡単に述べてから、BTSK で BTSJ からの追加・変更が必要な箇所についてまとめる。そして、第 1 節から、BTSK 作成に向けてのたたき台としての一案である BTSK 試作版（第一版）を掲載する。

Ⅰ．BTSJ の概要

宇佐美 (1999) は、対人コミュニケーション研究の方法論として、「自然会話分析への言語社会心理学的アプローチ」を提唱している。「言語社会心理学」は，言語使用という相互作用を通して、人間関係のあり方やコミュニケーション・ダイナミクスを探ることを目的とするものである。 BTSJ は、「自然会話分析への言語社会心理学的アプローチ」に適するものとして開発された「基本的な文字化の原則」であり、汎用性を念頭において構築された文字化システムである。

BTSJ は主に、以下の点に注意して考案されている。

① 研究の視点を得るために、読みやすいものであること。
② 定量的分析と定性的な分析共に適するものであること。
③ よって、データベース化がしやすく、記号等によって検索がしやすいものであること。
④ コーディングが「発話文」単位でできること。
⑤ 対人関係に重要な役割を果たすと考えられる周辺言語情報は、ト書き的にして、なるべく多くを記しておくこと。（宇佐美、1997：15）

Ⅱ．韓国語の特徴

韓国語ではハングル文字を使用し、基本的に한글맞춤법(以下「ハングルつづり法」と記する)に従って表記する。

「ハングルつづり法」（1988 改訂）の総論を以下に示す。

1.한글맞춤법은 표준어를 소리대로 적되, 어법에 맞도록 함을 원칙으로 한다.
（ハングルつづり法は標準語を発音どおり記すが、語法に合うようにすることを原則とする。）
2.문장의 각 단어는 띄어씀을 원칙으로 한다.

（文の各単語は分かち書きを原則とする。）
3.외래어는 ‘외래어 표기법’에 따라 적는다.
（外来語は‘外来語表記法’に従い、書く。）
（『韓国語文規定集』1995：10 引用者訳）

また、「ハングルつづり法」は、総論の他に子音、母音、発音、形態、分かち書き、その他に構成されている。

上記の「1. ハングルつづり法は標準語を発音どおり書き、かつ語法に合うようにすることを原則とする。」という説明には、韓国語の特徴からくる二つの原理が含まれていると考えられる。つまり、表音文字であるハングルで表記するときは「発音どおり書く」ことが原則となる。それと同時に、연규동（ヨン・キュドン）（1998:233）でも言及されているように、韓国語は形態音素的交替が多い言語であるため、同一の形態が前後の要素によって発音が変わる場合が多く、それゆえ「語法に合う」ように書くのも原則になるわけである。これについて이희승・안병희（イヒスン・アンビョンヒ）（1996）は［語法に合うように］、つまり文法に合うように記録することも大事であり、もし標準語を実際使用している発音のみで表記すると意味の把握が難しくなると説明している。

次はある人の発話を発音どおり文字起こしてみた文である[12]。

例 1. 종압쩌그로사태를파아카는이리중요알꺼야.
[congapccekulosathaylulphaakhanunilicwungyoalkkeya.]
（総合的に事態を把握することが重要であろう。）

例 1 のように発話を発音通りに書くと、その発話の意味把握には時間がかかり、読みやすさに欠ける。同一の例を語法に合わせて書くと例 2 のようになる。

例 2. 종합적으로 사태를 파악하는 일이 중요할 거야.
[conghapcekulo sathaylul phaakhanun ili cwungyohal keya.]
（総合的に事態を把握することが重要であろう。）

例 1 を正しく発音すると例 2 のようになる。このように、原則的にハングルつづり法を従うことで読みやすさを図ることができる。

ハングルつづり法では、「文の各単語は分かち書きを原則とする」となっている。分かち書きは、表音文字であるハングルで表記したものの内容の理解に役立つもので、韓国語表記では重要視される。ここで、ハングルつづり法における分かち書きの内容を연규동（ヨン・キュドン）（1998:205）から引用し、まとめて示す。

① 必ず分かち書きをしないもの：助詞
例）꽃이（花が）、멀리는（遠くは）
② 分かち書きしないことが原則であるが、特定な場合には分かち書きを許容するもの：姓と名前
例）채영신（チェ・ヨンシン）、독고 준（トッコ・ジュン）

[1] 韓国語のローマ字表記は Yale 式に従う。

③　必ず分かち書きするもの：依存名詞、単位名詞、列挙することば、呼称語、官職語
例）아는 것이 힘이다.（知こそ力なり）
④　分かち書きが原則であるが､分かち書きしないことも許容されるもの:順序を表したり、数字と一緒に書く単位名詞、数を書くとき、単音節の単語がつながって現れるとき、補助用言、姓名以外の固有名詞、専門用語
例）불이 꺼져 간다. 불이 꺼져간다.（火が消えていく）　　（引用者訳）

ところが、ハングルつづり法における分かち書きの原則には例外がいくつかある。それらを補うため、김선희･오승신（キム･ソニ、オ･スンシン 2002:54～55）では、分かち書きについて、次のように述べている。

① 分かち書きは、標準語法[3]に従うが、標準語法で明確に決まることのできない場合は分かち書きをする。
② 本用言と補助用言は分かち書きをする。ただし、両用言が密接に結合して一つの用言として辞書に載っている場合はつなげて書く。
例）살아 보자（生きてみよう）、 가보자（行ってみよう）
넘나들다（出入りする）、 먹어 보다（食べてみる）
③ 複合語の場合は、各々の単語に分離して書くが、この際単音節が生じる場合[4]は、分かち書きをしないでつなげて書く。
例）아침 조깅（朝のジョギング）、 아침밥（朝ご飯）
④ 韓国人の人名である場合は姓と名前をつなげて書くが、外国の人名の場合は、姓と名前を分かち書きする。
例）이순신（イ･スンシン）、 빌 클린턴（ビル･クリントン）

分かち書きに関して、김형정（キム･ヒョンジョン 2002:130）と전영옥（チョン･ヨンオク 2002:92）も指摘しているように、例外部分の分かち書きを一貫して行うことは大変難しいことであるため､細心の注意を払うべきである。また､이승구 외（イ･スング他2001）の『우리말 우리글 바로쓰기 사전 띄어쓰기 편람（韓国語正書法辞典分かち書き編覧）』には、韓国語の分かち書きの例が数多く載せられているので、それを参考に文字化をすると、分かち書きにおける一貫性を高めることができると考える。

以上のように、分かち書きにおいては、ハングルつづり法での原則に従いながら、例外部分での分かち書きを一貫させて行うことが必要である。BTSK ではこのような韓国語の特徴を反映させていく。BTSK における表記法や分かち書きについては「6　表記方法と記号について」で詳細を述べる。

Ⅲ．BTSK の試作版における BTSJ の変更点及び追加点

本稿は、BTSJ から BTSK へそのまま適用できる「発話文の認定の仕方」、「改行の原則」、「発話文番号とライン番号」に関しては BTSJ における記述をそのまま転載しながら、日本語の会話例に相当すると考えられる韓国語の例を差し替えている。ただし、「発話文終了に関する記号」、「記号凡例」、「入力書式」に関しては、韓国語の表記で使われる記号や入力書式を採択し、一部変更する。また、「表記方式と記号について」は、使用文字、表記の原則、様々な発音現象､分かち書きなどのような韓国語ならではの特徴に関しては新しく追加した点があるが、

[3] 「標準語法」は「ハングルつづり法」を指していると考える。
[4] 「この際、単音節が生じる場合」というのは、「片方の単語が単音節である場合」だと考える。

韓国語の会話例を挙げながら述べる。以下、BTSK で BTSJ からの追加・変更が必要な箇所について表 1 にまとめる。

表 1　BTSK で BTSJ からの追加・変更が必要な箇所

BTSJ の構成	BTSKの試作版におけるBTSJの変更点及び追加点
1.発話文の認定の仕方	BTSJ と同様
2.改行の原則	BTSJ と同様
3.発話文終了に関する記号	BTSJ の一部変更
4.発話文番号とライン番号	BTSJ と同様
5.表記方式と記号について	BTSJ の一部変更及び追加
6.記号凡例	BTSJ の一部変更
7.入力書式	BTSJ の一部変更

以下は、BTSJ の観点に基づいた「基本的な文字化の原則の韓国版」の作成に向け、韓国語の特徴と考慮すべき点について検討したものを反映させた「基本的な文字化の原則韓国語版 (Basic Transcription System for Korean: BTSK)の試作版（第 1 版）」である。

基本的な文字化の原則韓国語版(Basic Transcription System for Korean: BTSK)の試作版（第１版）

1. はじめに

本稿で提示する「基本的な文字化の原則の韓国語版の試作版（BTSK）」は、「読みやすさ」を重視し、韓国語表記の慣習にしたがって「ハングル綴り法」で表記する。

自然会話の定量的分析に適するように考案された BTSK では、「発話文」を基本的な分析の単位とする。以下、発話文の認定の仕方、改行の原則、発話文終了に関する記号、「発話文番号」と「ライン番号」、表記方法と記号について順に述べる。さらに、BTSK によって文字化した資料を用いて行う分析例をも紹介する。

2. 発話文の認定の仕方

BTSK では、「実際の会話の中で発話された文」という意味で「発話文」という用語を用い、基本的な分析の単位とする。

「発話文」の定義は、会話という相互作用の中における「文」とする。そして、以下のように認定する。基本的に、ひとりの話者による「文」を成していると捉えられるものを「1発話文」とする。しかし、自然会話では、いわゆる「1語文」や、述部が省略されているもの、あるいは、最後まで言い切られない「中途終了型発話」など、構造的に「文」が完結していない発話もある。そのような場合は、話者交替や間などを考慮した上で「1発話文」であるか否かを判断する。つまり、「発話文」の認定には、「話者交替」、「間」という２つの要素が重要になる。

たとえば、1語の発話、文末が省略された形で言い切られた発話、話者が自分で発話の最後まで言い切らず言いよどんだ発話や、第１話者の発話文が完結する前に、途中に挿入される形で、第２話者の発話が始まり、結果的に第１話者の発話が終了した発話などは、話者交替や間があった場合は、「1発話文」として扱う。いわゆるあいづちや笑いも、話者交替や間などを考慮して「1発話文」であるか否かを判断する。

また、構造的には「文」となっているが、独立した1発話文とはみなさない発話もある。例えば、何かを思い出そうとするときなどに用いられる「글쎄요, 좀 잘 될 때-하고(음-) 안 될 때하고 차이가 나는 부분 중에 하난데.（そうですね、うまくいく時ーとそうでない時との差がでる分野の中の（うん）ひとつで。）」などのフィラーは、先行部・後続部とまとめて「1発話文」とする。直接引用文も同様である。さらに、同一話者による「왜 그래, 왜 그래（どうした、どうした）」などのような繰り返しも、「왜 그래（どうした）」のみで「文」になっているが、それらのあいだに間がなく、繰り返されたものがまとまったものとして捉えられる場合は、それらをまとめて1発話文とする。また、「갈 거예요, 학교에」のような発話は、「갈 거예요(行きますよ)」と「학교에(学校に)」のあいだに間がない場合は、「갈 거예요(行きますよ)」だけでも「文」とみなしうるが、この発話は、結果的に倒置の形となっているのでまとめて１発話文とみなす。途中で相手の発話が入って話者が一旦交替したため改行され、複数のラインに渡っている発話も、同一話者によって発せられた「文」を成していると捉えられるものは、複数のラインにまたがる発話をまとめて「１発話文」とする。

1)1 語の発話文

[会話例[5]1]

発話文番号	話者	発話内容
107	KYF01	음, 그러면 어떻게 하시는 일이 어떻게 되세요?. （うん、では、あの、お仕事は何をなさってるんですか？。）
108	KBF01	**강사.** （非常勤講師。）
109	KYF01	아, 강<사…>{<}. （あ、非常勤講<師…>{<}。）
110	KBF01	**<일>{>}본.** （<日>{<}本。）
111	KYF01	아-,(예-) 일본. （あー、（はいー）日本。）

宇佐美研究室(2001)より

発話文番号 108 と 110 は、文の要素は一つしかないが、話者交替や間を考慮した場合、一発話文としてみなされる例である。このように、会話においては、主語・述語がなくても一つの発話文としてみなされる場合がある。

2)文末が省略された形で言い切られた発話文

[会話例 2]

発話文番号	話者	発話内容
55-1	KBF01	그럼 나이가-,, （では年がー,,）
56	KYM01	네. （はい。）
55-2	KBF01	아직 어리셔서 잘 하실 수 있어요?=. （まだお若いのにうまくできるんですか？=。）
57	KBF01	=잘 되세요?. （=うまくできるんですか？。）
58	KYM01	어허허<웃음>. （ははは<笑い>。）
59	KBF01	**<웃으면서> 사장님들과 대화를.** （<笑いながら>社長さん達と会話を。）
60	KYM01	그, 그래서 인제 처음에는（예）그 현장에 제가 처음 딱 신입사원으로 딱 현장으로, 무조건 현장으로 보내 버리거든요, 처음에는. （そ、それで、最初は（はい）あの現場にわたくしが新入社員として、現場に、例外なく現場に派遣させられますけど、最初は。）

宇佐美研究室(2001)より

これは、「中途終了型発話文」と同じく文末が省略された形の発話文ではあるが、会話例 3

[5] 紙面の都合上、会話例の提示においてライン番号と発話文終了は省略する。ただし、ライン番号と発話文終了の説明の部分では提示する。本稿で「会話例」と表記される例は、BTSK で新たに追加した会話例である。

の発話文番号 27 の「中途終了型発話文」は、発話文の最後を言いよどんでいるため、まだ言いたいことがあるような余韻を残している。これに対して、会話例 2 の発話文番号 59 のような発話文は、最後に言いよどみは感じられず、イントネーションが下がり、相手に自分の発話が終わったことを伝えていると捉えられるものである。

3)話者が自分で発話の最後まで言い切らず言い淀んだ発話文

[会話例 3]

発話文番号	話者	発話内容
26-2	KBF01	전공은 뭐 하시는데. （専攻は何されてる。）
27	KYM01	**전공은 경제학을….** （専攻は経済学を…。）
28	KBF01	아−. （あー。）
29	KYM01	예, 일본어에 관심이 있어서 일본어를 배울−까 하고, 재작년에 한 6 개월 정도 다녔었는데요,(음−) 종로에. （はい、日本語に興味があって日本語を習おーうかと、おととし六ヶ月ぐらいかよいましたけど、（うんー）チョンロに。）

宇佐美研究室(2001)より

発話文番号 27 のように、話者が自分の意思で文末を省略した場合や、言いよどみによって最後まで言い切っていない場合を「中途終了型発話文」と呼ぶ。相手によって言い切られた会話例 4 の発話文番号 209 の発話文とは違う形である。

4) 第 1 話者の発話文が完結する前に、途中に挿入される形で、第 2 話者の発話が始まり、結果的に終了した発話文

[会話例 4]

発話文番号	話者	発話内容
208	KBF01	아직까지 그거 한 지 3 개월 밖에 안 됐어요, 저희가 하기로 한. （まだあれ始めてから 3 ヶ月しか経ってないんです、私たちがやることにしてから。）
209	KBF01	그거 다 정리하고 제가 (음) 하던 일, 무슨 준비 하는데 **<오래 걸리…【【>{<}.** （あれ全部整理してわたくしが（うん）していた仕事、何か準備するのに<時間がくかかり…【【>{<}。）
210	KSF01	】】<와, 그래도>{>} 대단하시네요. （】】<わー、でも>{>}すごいですよね。）

211-1	KBF01	제가 대단한 게 아니라요,(음) 저는 대충 할려 그래, 일은 하면서 살면서, 수익도 그렇게(웃으면서) 적은 거 아니니까, 살 수 있을 것 같았는데, 그 결혼할지도 모르-시는 분이(음-), 음, 그렇게 어떻게 계속 남의 돈만 받으며 살 수 있<겠냐>{<} ,, (わたくしがすごいわけではなくて、(うん)わたくしは適当にやろうとして、仕事はしながら、収益もそんなに<笑いながら>すくなくないから、生活できそうだったけど、あの結婚するかもしれない方が(うんー)、うん、そんなどうしてずっと他人から賃金もらって生きていけるか> {<},,
212	KSF01	<그건>{>} 그래요. (<それは>{>}そうですね。)

宇佐美研究室(2001)より

発話文番号 209 は、話しているうち、相手の発話（発話文番号 210）が入ったため、話が途中で切られ、最後まで言い切られていない発話文である。この発話文は、相手の発話が終わった後にも前の話が続くことはない。

5)前後に間があり、1 発話文とみなされるあいづちや笑い

[会話例 5]

発話文番号	話者	発話内容
34	KYM01	「학원명」학원인가,(<웃음>) 「학원명」 일본어. (「語学院名」学院だったかな、(<笑い>)「語学院名」日本語。)
35	KYM01	근데 거기 선생님이 되게 좋아서(아-) 그냥 6 개월 정도 다녔었어요. (それが、そこの先生がすごく気に入って(あー)まあ、6 ヶ月ぐらい通ったんですよ。)
36	KBF01	**아-.** (あー。)
37	KBF01	그럼 잘 하시겠네요?. (それではお上手でしょうね?。)
38	KYM01	아니요, 근데 잘 못해요. (いいえ、でも下手なんですよ。)
39	KBF01	**으허허<웃음>.** (ははは<笑い>。)
40	KYM01	많이 잊어 버렸어요. (ほとんど忘れてしまいました。)

宇佐美研究室(2001)より

基本的に、あいづちと笑いは次に続く発話文と合わせて 1 発話文とするが、発話文番号 36 のように、相手の発話に対して感嘆の気持ちを表すなどのあいづちは、実質的機能を持つと考え、1 発話文とする。また、発話文番号 39 のように相手の発話に対する、実質的な反応として機能している笑いも 1 発話文として扱う。

6)構造的には文になっているが、独立した 1 発話文とはみなさず、その先行部・後続部とまと

めて「1 発話文」とするもの：フィラーの場合

[会話例 6]

発話文番号	話者	発話内容
49	KOM01	철강이, 원래, 싸이클, 경기 싸이클이라는 게 많이 타는 편인데. （鉄鋼というのが、もともと、サイクル、景気のサイクルに敏感なほうで。）
50	KBF01	네. （はい。）
51	KOM01	**글쎄요**, 좀 잘 될 때-하고(음-) 안 될 때하고 차이가 나는 부분 중에(음) 하난데=. （そうですね、うまくいくときーと(うんー)そうでない時との差がでる分野の中の(うん)ひとつで=。）
52	KBF01	=왜냐면은, 이게 자본-이(음) 많이 들어가는 산업 아닙니까?, 그죠?=. （=なぜなら、これが資本ーがかなり必要な産業じゃないですか?、でしょう?=。）

宇佐美研究室(2001)より

発話文番号 5 1 で、話者は自分の言いたい話の前に「글쎄요（そうですね）」というフィラーを用いている。フィラーは文頭や文中に独り言のように使われるもので、形式としては、文を成しているが、先行部、後続部とまとめて「1発話文」とする。

7)構造的には文になっているが、独立した 1 発話文とはみなさず、その先行部・後続部とまとめて「1 発話文」とするもの：直接引用を含む発話文の場合

[会話例 7]

発話文番号	話者	発話内容
46	KOF01	<그-,>{>}방학동 「아파트명 1」 아파트가, 많이 넓지가 않아서-(아-), 딱 보면 거긴데(응응)「아파트명 2」넘어 가면 바로 거긴데. (<あのー、>{>}バンハク洞の「マンション名 1」マンションが広くないんでー、(あー)ぱっと見るとあそこなのに、(うんうん) 「マンション名 2」過ぎたらすぐそこなのに。）
47	KBF01	그래서,(예-) 저 이상하다 생각…<웃음>. （それで、(はいー)あの変だとおもっ…<笑い>。）
48	KOF01	다음부터 택시 탈 때, **"아저씨 방학동 「아파트명 1」 아파트 아세요?"** 물어 보고 타야죠<둘이서 웃음>. （今度からタクシー乗る時、“あのバンハク洞の「マンション名 1」マンション分かりますか?”と聞いて乗らなきゃいけないんですよね<2 人で笑い>。）
49	KBF01	근처에 갈 일 없어요 =. （近所に行く用事ないんです=。）

宇佐美研究室(2001)より

やり取りの中で、誰かの発話をそのまま再現する「直接引用文」の場合は、構造的には文を成しているが、発話文番号 48 のように、話者の話の中に含まれている発話と捉え、1 発話文

としては扱うことなく、後に続く発話とまとめて１発話文とする。

8)1 発話文になりうる発話が間を入れずに繰り返されているために、それらをまとめて１発話文とみなすもの

[会話例 8]

発話文番号	話者	発話内容
38	KBF01	5 살이면 요새 말 안 들을 때 아닌가요?. (5歳ならそろそろいうことを聞かない時期じゃないんですか?。)
39	KSM01	요즘 슬슬 말 안 듣구 <막 그러죠>{<}. (最近、そろそろいうことを聞かなかったりするん<ですね>{<}。)
40	KBF01	<딸이예요?>{>}. (<娘さんですか？>{>}。)
41	KSM01	**아들요, 아들이요.** （息子です、息子です。）

宇佐美研究室(2001)より

発話文番号 41 において、最初の「아들요(息子です)」だけでも文になりうるが、相手の反応とは関係なく、間を入れず「아들이요.(息子です)」と同じ表現を繰り返したため、両者を合わせて 1 発話文としてみなす。しかし、もし、この場面で「아들이요.(息子です)」と一回話し、間をおいて相手の反応を待つが、反応がなかったのでもう一度「아들이요.(息子です)」と話した場合は、それぞれ１発話文として数える。

9)発話が一息に続いているため、1 発話文と認められ、結果的に倒置の形になっているもの

[会話例 9]

発話文番号	話者	発話内容
23-1	KYM01	아침에 다니-기…, 학원을 끊었는데요,, (朝、通うーのが…、語学教室に申し込みましたが,,)
24	KBF02	예. (はい。)
23-2	KYM01	회사 가까운 데. （会社の近くに。）
25	KYM01	잘 못 나가게 되더라구요, 1 주일에<###>{<}. (なかなか出られなくなっちゃったんですよ、一週間<###>{<}。)
26	KBF02	**<거의>{>} 불가능하죠, 아침에 <하는 건>{<}.** (<ほとんど>{>}不可能ですね、朝<通うのは>{<}。)
27	KYM01	<불가능이라고>{>} 생각##. （<不可能だと>{<}おもい##。）
28	KBF02	예. (はい。)

宇佐美研究室(2001)より

話しことばの中では、まず強調したい、大切だと思う情報から伝達し、それを補うような形で話をする場合に倒置表現が用いられる。発話文番号 26 の、一人の話者が続けて話した「거의 불가능하죠(ほとんど不可能ですね)」と「아침에 하는 건(朝、通うのは)」は1発話文として扱う。

10)話者が一旦交替しても、同一話者によって発せられた「1 発話文」とみなすもの(10-1 と 10-2 とで 1 つの発話文とみなす)

[会話例 10]

発話文番号	話者	発話内容
10-1	KOM01	아,(네) 저쪽에서도 한 번 해 봤는데,, (あ、(はい)あそこでも一度やってみたけど,,)
11	KBF01	네. (はい。)
10-2	KOM01	뭐 또 엉뚱한 얘기만 하다가 왔는데(네). (なんか変な話ばかりしていきたけど(はい)。)

宇佐美研究室(2001)より

KOM01 の発話がまだ終わっていなくて(発話文番号 10-1)KBF01 にターンが交替され次にまた KOM01 の発話が続いている(発話文番号 10-2)。この場合は 10-1 と 10-2 とで 1 つの発話文とみなし、発話文 10-1 の最後に発話がまだ終了していないという意味で「,,」をつける。

3　改行の原則

基本的には、話者が交替するたびに改行する(会話例 11)。しかし、話者が交替しなくとも、同一話者が複数の「発話文」を続けて発するときは、「発話文」ごとに改行する(会話例 12)。また、相手の発話に重なる短い小声のあいづち(ふーん等)や笑いは、（　　)に入れて、相手の発話の中の最も近いと思われる場所に挿入する(会話例 13)。

[会話例 11] 話者が交替するたびに改行する場合

発話文番号	話者	発話内容
26	**KOM01**	저는, 여기「학부명」출신입니다. (私は、ここの「学部名」出身です。)
27	**KBF01**	아ー. (あー。)
28	**KOM01**	76 학번이구요. (76 年度入学です。)
29	**KBF01**	76 학번이세요?. (76 年度入学ですか？。)

宇佐美研究室(2001)より

[会話例 12] 同一話者が複数の発話文を話す場合

発話文番号	話者	発話内容
16	KSF01	<웃음>그런데다가 인제 돈하고 관계되는 거 하잖아요[↑], 저희는.(<笑い>それに、これからお金にかかわる仕事をしているでしょう[↑]、私たちは。)
17	**KBF01**	아, 뭐해요?.(あの、何をしますか?。)
18	**KBF01**	그거 뭐 하시는 거예요?.(あの仕事って何をなさっていますか?。)

宇佐美研究室(2001)より

[会話例 13] 改行しないあいづちや笑い

発話文番号	話者	発話内容
5	KSF01	그, 그래서 인제 처음에는(예) 그 현장에 제가 처음 딱 신입사원으로 딱 현장으로, 무조건 현장으로 보내 버리거든요(<웃음>), 처음에는. (そ、それで、最初は(はい)あの現場にわたくしが新入社員として、現場に、例外なく現場に派遣させられますけど(<笑い>)、最初は。

宇佐美研究室(2001)より

4 発話文終了に関する記号

1発話文が発せられている途中に相手の発話が入った場合、話者交替の改行原則により、改行されることになる。このように、1発話文が1ラインで終わらず、複数のラインにわたる場合がある。そこで、各ラインの末尾に、発話文が終了しているか否を区別する記号をつける。以下に、順に説明する。

4.1　発話文終了の記号

発話文終了に関する記号もBTSの記号をほぼ同じく使用するが韓国語の記号の特徴のため、1発話文が終了したところにはその最後に必ず、「。」ではなく句点「.」をつける。その発話文が叙述なら句点「.」のみをつける。質問、確認等なら、「?」とそれに続けて句点「.」をつけ、「?.」という形にする。なお、疑問の終助詞(「か」等)がなくとも、イントネーションや文脈により、明らかに質問、確認等をしていると判断できるものには、「?.」をつける(「성함은?.(お名前は?。)」等。)　「?」の後に、「.」をつけるのは、「.」の数が発話文の数を表すようにするためである)。

また、1発話文として認定された笑いは、その音声を記し、「<웃음>(〈笑い〉)」の後に句点「.」をつけ、1発話文であることが分かるようにしておく（会話例14）。
なお、発話文末が言い淀んでいると判断される場合は、「…」とそれに続けて句点「.」をつけ、「….」という形にする（会話例15）。

[会話例14] 笑いのみの発話文

発話文番号	話者	発話内容
246	KF13	뭐?.　(何?。)
247	KF14	하하하<웃음>.(ハハハ<笑い>。)
248	KF13	<웃으면서>말을 해, 말.(<笑いながら>言ってよ、言いなよ。)
249	KF14	<약간 웃으면서>나서는 선배들 있잖아=. (<少し笑いながら>目立つ先輩たちいるんじゃない=。)

鄭(2004)より

[会話例15] 言い淀み：発話文末

発話文番号	話者	発話内容
346	KF10	운동을 해도 안 먹어야….(運動をしても食べては…。)
347	KF09	맨날 먹고만 있는데 뭘 빠져 빠지긴. (食べてばかりいるのにやせるものか。)

鄭(2004)より

また、会話の中では、第1話者の発話文が完結する前に、途中に挿入される形で、第2話者の発話が始まり、結果的に第1話者の発話が終了した形になる場合がある。このような場合は、第1話者の発話が非意図的に終了し、発話文として終わったことを表す記号「【【　】】」を

つける。結果的に終了させられた第 1 話者の発話文の終わりには、「. 」の前に、第 2 話者の発話が挿入されたことによって発話が終了したことを示す記号「【【」をつけ、第 2 話者の発話文の冒頭には、その発話が第 1 話者の発話途中に挿入され、第 1 話者の発話を終了させたことを表す記号「」】】】」」をつける。

例 1[6]. 第 1 話者の発話文が完結する前に、第 2 話者の発話が始まり、結果的に第 1 話者の発話が終了した場合

→1 A　그건, 고등학교, 근데 <그게…>{<}【【.

（それは、高校、でも<あの…> {<} 【【。）

→2-1B 】】<현대국어라고 하면,>{>}근까、국어의…,,

（】】<現代国語っていうと、> {>} あの、国語の…, , ）

3 A　네.

（はい。）

2-2B　그럼 그쪽 <뿐인가요?> {<}.

（なら、あっち、<だけですか?> {<} 。）

4.2 1 発話文が複数のラインにわたる場合

1 発話文の途中に相手の発話が入った場合には、その途中の句末に英語式コンマ 2 つ「, , 」をつけ、その発話文が終わっていないことをマークし、改行して相手の発話を記入する。その相手の発話の後に、改行して後に続く発話を記入し、発話文が終了したところに「. 」か「?. 」か「…. 」をつける（2.4.1「発話文番号」、表 2 を参照）。

複数のラインにわたって記入された 1 発話文には、その複数のラインすべてに同じ発話文番号をつけ、ラインが変わっていても、それらの発話が「1発話文」を成していることが分かるようにしておく。

つまり、1 ラインの終わりには、必ず、句点（「. 」、「?. 」、「…. 」の 3 パターン）か、英語式コンマ 2 つ「, , 」のどちらかの記号がつくことになる。

4.3 発話文中に使われる英語式コンマ

英語式コンマは、基本的に韓国語表記の慣例に従うが、発話の中で切れ目がある場合にもつける（会話例 16）。1 発話文とみなされるものが倒置の形になっている場合は、発話文中に読点「, 」を、発話文末に句点「. 」をつける（会話例 17）。倒置疑問の場合は、発話文中に「?, 」と記入する（例 2）。

［**会話例 16**］ 単語と単語の間に切れ目がある場合

発話文番号	話者	発話内容
284	KF16	걔가 **나가구, 나** 안 **나갔어,** **난**.（あの子は出て、私出なかった、私は。）
285	KF15	걔가 연습하는 거 **우리, 다 보고** "아 뭐야" 이랬잖아<웃음>.（その子が練習するところを私たちが、全部見て“何なのよ”と言ってたじゃん<笑い>。）

鄭（2004）より

［**会話例 17**］ 1 発話文とみなされるものが倒置となっている場合

発話文番号	話者	発話内容

[6] 本稿で「例」と表記される例は、BTSJ の会話例を韓国語で訳して載せたものである。

264	KF15	=아니, 근데 니가 계속 마음에 **걸리는거야,** <웃으면서>널 혼자 두고 나왔다는 게.(=いや、ところであなたがずっと気になってさ、<笑いながら>あなたを 1 人にして置いて出たというのがさ。)
265	KF16	그래 혼자 두고 나갔다 그거지<웃음>.(1 人にして置いて出たというわけ<笑い>。)

鄭(2004)より

例 2. 1 発話文とみなされるものが倒置疑問となっている場合

A　가니?, 내일.(行くの?, あした。)

5.「発話文番号」と「ライン番号」

BTSK において、「発話文数」と「ライン数」は、会話に関する情報を異なった視点から捉えている。それぞれの視点に応じた分析ができるように、各ラインには、「発話文番号」と「ライン番号」という 2 通りの番号をつける(表 2 参照)。

5.1「発話文番号」

「発話文」の数が分かるように、1 つの発話文につき 1 つの番号を割り当てる。ただし、1 発話文の途中に話者交替があって改行された場合には、1発話文が数ラインにわたって記されることになる。その際、その複数ラインにわたっている発話が一続きの 1 つの発話文であることを示すために、該当する一連のラインに同じ発話文番号をつける。さらに、その1発話文内における各ラインの順番が分かるように、その中で通し番号(たとえば表 2 の発話文番号 7-1、7-2)をつける。

また、句点「.」とは別に、発話文が終了していることを示す「*」を、「発話文終了セル」に記入する。つまり、発話文番号と「.」と「*」の数は必ず一致する。こうして、発話文の終了を「発話文終了」と「発話内容」と 2 つのセルで二重に確認し、記載漏れを防ぐようにする。さらに、発話文終了記号を記入しない場合には、「/」を記入する。なお、「/」は、コーディングにおいてコードを記入しない場合にも使用する。

5.2「ライン番号」

BTSK では、発話文番号とは別にライン番号を設ける。ライン番号には、1 ラインにつき 1 つの番号が割り当てられ、番号の若い発話が必ず先に発せられていることを示す。発話文番号においては、上述したように、トランスクリプトの中で番号の順序が入れ替わることがある(たとえば表 2 の発話文番号セルにおいて、6 の後に 7-1 が、8 の後に 7-2 がきている)が、ライン番号は、発話された順序を表すことができる。

表 2 「ライン番号」と「発話文番号」の 1 例

라인번호	발화문번호	발화문종료	화자	발화내용
1	1	*	KOF01	안녕하세요.(こんにちは。)
2	2	*	KBF01	안녕하세요. (こんにちは。)
3	3	*	KOF01	예.(はい。)
4	4	*	KBF01	저, 「KBF01 전체 이름」이오. (わたしは「KBF01　フルネーム」です。)
5	5	*	KOF01	저는, 「KOF01 전체 이름」요. (わたしは「KOF01 フルネーム) です。)
6	6	*	KBF01	주말인데, <웃음> 주말인데 어디 안 가시구.

				(週末だけど<笑い>週末だけどどこかいらしゃらなくて。)
7	7-1	/	KOF01	글쎄,, (そうだけど,,)
8	8	*	KBF01	<못 가셨죠?>{<}<웃음>. (<いけなかったんですね?>{<}<笑い>。)
9	7-2	*	KOF01	<가야>{>}, 가야 되는데-, 가까운 데라도 잠깐 나갔다 올라 그랬더니 (예) 여기가 이렇게 이렇게 잡혀 있으니, 글쎄. (<行かなきゃ>{>}、行かなきゃならないけど、近いところでもちょっと出かけてみようと思ったけど(はい)ここに用事があるから、まあ。)
10	9	*	KBF01	다행히, 비도 와서 다행이에요. (幸いに、雨が降ってよかったんですね。)
11	10	*	KOF01	비 와요?, <지금>{<}. (雨降っていますか?、<いま>{<}。)
12	11	*	KBF01	<예->{>}. (<はい>{<}。)

宇佐美研究室(2001)より

6 表記方法と記号について

ここでは、BTSK における表記方法の原則と、BTSK で独自に用いる記号が意味するところについて提示する。まず、表記方法について説明し、次に、直接引用部、音声的情報、周辺言語情報、プライバシー保護といった、発話にかかわる様々な情報を記号化する方法を提示する。

6.1 文字

原則としてハングルを使用する。ただし、必要に応じてハングルと併記する形で、アルファベットや算用数字、記号、場合によっては外国語の文字も使用する。

6.2 表記

自然会話を文字化する際には、その表記において、文字化資料の読みやすさと話しことばの特徴を反映させることを同時に考えなければならない。전영옥(チョン・ヨンオク 2002: 90～91)は、話しことばは発音どおり文字起こしするのが適切であろうが、そうするには現実的に難しい点もあり、言語研究の資料としては、綴字法[7]に従う文字起こしを用いた談話資料の使用が容易であるとし、それゆえ、韓国語における話しことばの研究には、綴字法に沿って表記する資料を用いている場合が多いと述べている。

したがって、本稿では韓国語の会話データを研究の基礎資料として整える作業には、原則的には「ハングルつづり法」に従うが、話しことばの特徴を反映させるために、場合によってはBTSK 独自のルールを決める。例えば、会話の音声的情報をできる限り正確に記述するため、強調された発音(쫌[ccom](ちょっと)、전-혀[cen-hye](ぜんーぜん)など)、また、音が脱落したり、通常の発音からの逸脱が大きかったりするものは発話されたとおりに記すということが挙げられる。

分かち書きにおいては、ハングルつづり法での原則に従いながら、例外部分での分かち書きを一貫させて行うことにする。

したがって、BTSK における単語と単語の間の間隔は、発話の切れ目を表すのではなく、ハングルつづり法に従った表記方法にすぎないものであることに注意する必要がある。例えば、

[7] ここでいう「綴字法」とは、韓国語の正書法を定めている「한글 맞춤법(1988 改訂、ハングルつづり法)」を指していると考える。

実際の会話において、「생각하는것(考えること)」が立て続けに発話された場合は、ハングルつづち法に従って「생각하는　것(考えること)」のように表記する。一方、「생각하는（考える)」と「것(こと)」の間に切れ目が入った場合は、音声的な情報の中で、短い間（ポーズ）を示している記号である「, 」を用いて単語と単語の発話における切れ目を表す。

例 3. ・立て続けに発話された場合：「「생각하는 것(考えること)」
・発話の中で切れ目がある場合：「「생각하는, 것(考える、こと)」

6.2.1　外来語・外国語の表記

ハングルつづり法では外来語の表記は外来語表記法に従うことになっているが、BTSK では発話された通りにハングルで表記することを原則とする。ただし、発話通りの表記だけでは意味が分からない場合は、周辺言語情報として該当する単語の原語を書いておく。以下例を示す。

［会話例 **18**］

発話文番号	話者	発話内容
13	KBF01	바쁘세요?, 요<일까지>{<}.（忙しいですか?、日曜<日まで>{<}。）
14	KSF01	<아-,>{>} 너무 바쁘구. （<あの、>{<}いそがしすぎて。）
15	KBF01	예.（はい。）
16	KSF01	<웃음>그런데다가 인제 돈하고 관계되는 거 하잖아요[↑], 저희는.（<笑い>それに、これからお金にかかわる仕事をしているでしょう[↑]、私たちは。）
17	KBF01	아, 뭐해요?.（あの、何をしますか。）
18	KBF01	그거 뭐 하시는 거예요?.（あの仕事って何をなさっていますか?。）
19-1	KSF01	그니까 뭐 명품을,,（だからあのブランド品を,,）
20	KBF01	예.（はい。）
19-2	KSF01	근까 저희가 인제 외부에 있는 주로 루이비통 계열사인데,(음) 그거를 인제 프랑스에서 (음) 수입을 저희가 하는 건 아니고 (응), 저희는 디에프에스 ' **DFS** '(음), 듀티프리 ' **Duty Free** '(음음음) 쪽을 해요=.（だからうちの会社は外部にある Louis Vuitton の系列社だけど、（うん）それを、フランスから（うん）輸入をうちの会社がするのではなくて（うん）、うちは DFS（うん）、Duty Free のほうをやっています=。）

宇佐美研究室(2001)より

6.2.2　各発音現象の表記

前述の通り、韓国語では同一の形態素の発音が前後に位置する要素によって大きく変わる。これらの現象は規則性を持っており、終声の初声化、有声音化、濃音化、激音化、口蓋音化、「ㄴ」挿入などが挙げられる。発話の中で以上のような発音現象が起こる場合はハングルつづり法に従って記す。

しかし、実際の会話では発音のゆれ、縮約、添加、語彙の非文法的な使用などが起こる。このような話しことばならではの特徴はハングルつづり法だけでは充分に表記することができない。ことばの表し方について Edwards(1993:20)は、標準的な正書法は多くの目的にかなうものであるが、特定の発音や方言が重要性を持っていたり、書かれたことばにはない話しことばから符号化されていたりする場合においては、補填が必要であると指摘している。

本稿でも、このような考え方に基づいて、ハングルつづり法だけでは表記できない、韓国語の話しことば特有の現象を詳しく取り上げ、それらを表記する方法を試みる。読みやすさと意味の把握に支障がないものは基本的に発音通りに書く。音の表記だけでは意味が分かりにくい発話は「‘　’」の中に正式な表記を記入しておく(会話例 19 の発話文番号 37)。ここで取り上げるものは、韓国語の会話データを文字化する過程の中で現れたものである。具体的には、母音の交替、語の縮約、音の添加、子音の濃音化、方言・数字・長音の表記、そして正しい使い方ではないが、幅広く使用されている表現などである。

1)母音の交替：

ある母音が他の母音に交替され、発話される現象である。特に、母音「ㅗ[o]」が「ㅜ[wu]」に発話される現象が非常に多く見られる。例えば、用言語尾「～고[ko]」が「～구[kwu]」に、助詞「도[to]」が「두[twu]」に、「로[lo]」が「루[lwu]」に発話される場合であり、韓国語母語話者においては幅広く見られる現象である。会話例 19 の発話文番号 37 の「근무루[kunmwulwu]」の「루[lwu]」、発話文番号 41 の「공부할 거구[kongpuhal kekwu]」の「구[kwu]」、発話文番号 39 の「그만 둘려구[kuman twullyekwu]」の「구[kwu]」などがこれに該当する。

そして、もう一つの母音の交替として、「ㅓ[e]」が「ㅡ[u]」になるのも挙げられる。発話文番号 35 に挙げている「같드라[kathtula]」がこれに該当する。これらをハングルつづり法に合わせて表記すると、それぞれ、「근무로[kunmwulo]」、「공부할 거고[kongpuhal keko]」、「그만 두려고[kuman twullyeko]」、「같더라[kathtela]」のようになる。しかし、BTSK では、読みやすさに支障がなく、意味内容の把握にも問題が無いと判断される場合は、話しことばの特徴を反映させる意味で発話された通りに表記する。その他にも、「ㅏ[a]」が「ㅓ[e]」や「ㅐ[ay]」に、「ㅡ[u]」が「ㅓ[e]」と発話される場合などが見られるが、これらも以上の二つの条件を満たす場合はすべて発話された通りに表記する。

[会話例 19]

発話文番号	話者	発話内容
35	KBF03	<### 많이 힘드실>{<} 것 **같드라**. 〈(###結構大変)〉{>} そうだった[더[te]が드[tu]に交替]。)
36	KYF01	예. (はい)
37	KYF01	종합병원이라, 일케,['이렇게'의 줄임말] 쓰리 **시프트루**, 일케, 데이 이브닝 나이트 **근무루** 막 일케 계속 돌아가거든요. (総合病院なので、こう、[‘이렇게’の短縮]3 交代で[로[lo]が루[lwu]に交替] に交替)、こう、連続に回りますので、こう、昼、夕方、夜の勤務で[로[lo]が루[lwu])
38	KYF01	그런 건 힘든데…. (それは大変だけど…。)
39	KYF01	요번 대학원 가면서 이제 그만 **둘려구**, 8 월 31 일자<웃으면서>로 그만둬요. (今度、大学院に行くことになって、もう辞めようと[고[ko]が구[kwu]に交替]、8 月 31 日付け<笑いながら>で辞めます。)
40	KBF03	아, 대학원 시험은 이미 치른 <시험##>{<}. (あ、大学院の試験はもう受けた<試験##>{<} 。)
41	KYF01	<예예,>{>} 2 학기부터 **공부할** <거구[목소리가 작아짐]>{<}. (<はいはい、>{>} 後期から勉強<するつもりで[고[ko]が구[kwu]

		に交替］＞｛<｝。［声が段々小さくなる］）
42	KBF03	<아, 그>{>}럼 축하해요. （<あ、それ>｛>｝はおめでとう。）

宇佐美研究室(2001)より

以下母音交替ではないが、単語を成す一部の母音が標準語とは違っているので非標準語となっている言葉の表記について少し触れる。これらは非標準語で発話されても読みやすさと意味の把握に支障がないので発話された通りに表記する（詳細は이희승・안병희（イヒスン・アンビョンヒ）(1996:190-195)を参照)。

標準語	非標準語	標準語	非標準語	標準語	非標準語
깡충깡충 ［kkangchwung kkangchwung］	깡총깡총 ［kkangchongk kangchong］	−내기(서울, 신출) ［−nayki(sewul, sinchwul)］	−나기 ［−naki］	담쟁이덩굴 ［tamcayngiten gkwul］	담장이덩굴 ［tamcangiteng kwul］
오뚝이 ［ottwuki］	오똑이 ［ottoki］	냄비 ［naympi］	남비 ［nampi］	깍쟁이 ［kkakcayngi］	깍정이 ［kkakcengi］
부조 ［pwuco］	부주 ［pwucwu］	아지랑이 ［acilangi］	아지랭이 ［acilayngi］	나무라다 ［namulata］	나무래다 ［namulayta］
사돈 ［saton］	사둔 ［satwun］	미장이 ［micangi］	미쟁이 ［micayngi］	바라다 ［palata］	바래다 ［palayta］
삼촌 ［samchon］	삼춘 ［samchwun］	멋장이 ［mescangi］	멋쟁이 ［mescayngi］	상추 ［sangchwu］	상치 ［sangchi］

2)語の縮約

会話のやり取りの中では語の縮約現象が多々起こる。例えば、会話例 20 と会話例 21 のような場合である。

［会話例 20］　語の縮約現象 1

発話文番号	話者	発話内容
37	KYF01	종합병원이라, **일케**,['이렇게'의 줄임말] 쓰리 시프트루, 일케, 데이 이브닝 나이트 근무루 막 일케 계속 돌아가거든요. （総合病院なので、こう、[일케[ilkhey]→ ‘이렇게[ilehkey]’の短縮]3交代で、こう、昼、夕方、夜の勤務で、こう、連続に回りますので。）
38	KYF03	그런 건 힘든데…. （それは大変だけど…。）

宇佐美研究室(2001)より

［会話例 21］　語の縮約現象 2

発話文番号	話者	発話内容
217	KBF01	그니까 새로운 메뉴를 개발하기도 하고, 기존에 있던 거도 하고 그래서, (음) 싸게, 요새 떡이 너무 비싸니까,, （だから新しいメニュを工夫したり、もともとあったものも売ったりしてそれで、（うん）安く、最近餅ってすごく高いから,,）

218	KSF01	음-.（うんー。）
219	KBF01	근까[‘그러니까’의 줄임말] 그렇게 그 개념의 떡집.（だから[근까[kunkka]→‘그러니까[kulenikka]’の短縮]）そのようなコンセップの餅屋。）

宇佐美研究室(2001)より

会話例 20 の発話文番号 37 の「일케[ilkhey]」は「이렇게[ilehkey]」が縮約され発話されたものである。語法に合うように書くと「이렇게[ilehkey]」になるが、データから聞き取れる発音は本来の発音から縮約された形なので、発話された通り「일케[ilkhey]」と書く。同様に、会話例 21 の発話文番号219での「근까[kunkka]」も語法に合わせると「그러니까[kulenikka]」と書くべきだが、発話された通り表記する。そして、縮約形からその語彙が持っている意味を読み取りにくい場合は、例のように該当することばの横に正式な表記を「‘ ’」の中に記入しておく。

次は二重母音の縮約現象について述べる。韓国語の会話の中で二重母音/ㅟ/[wi],/ㅚ/[oy]が単母音/ㅔ/[e],/ㅏ/[a]と結合された場合は縮約されて発話される場合が多い。しかし、現在の韓国語表記法ではこれらの現象を表記することができない。この問題に関しては、「21 世紀世宗計画現代国語口語転写コーパス(以下「21 世紀世宗計画」と記す)」でも指摘されている。「21 世紀世宗計画」では、縮約されていない発音との区別をすべく、「’」の記号を用いて表記している。例えば、「쉬다[swita]」が丁寧さを表す終結語尾「요[yo]」と結合する場合、縮約されていない場合は「쉬어요[swieyo]」と、縮約された場合は「쉬’어요[swi’eyo]」のように表記している。それに対して、金珍娥(2006)は文字化における記号の多用を避けるという意味で「슜ㅕ어요[swuss-ye-eyo]」のように、母音を別表記している。しかし、韓国語には母音のみでは表記しないという規則(母音のみの場合は、子音「ㅇ」を挿入する)があり、結果的には母音の別表記という一つの記号化されたものとなる。それゆえ、入力ミスとして扱われる恐れがある。BTSK では、基本的に「21 世紀世宗計画」に従うが、「’」の記号は他の機能を持つものとして使われているので、量的な処理の便利さを測り、「^」の記号を用いる。表記方法は以下のようになる。

・「21 世紀世宗計画」 ⇒「쉬’어요[swi’eyo]」
・ BTSK ⇒ 「쉬^어요[swi^eyo]」

3)音の添加現象

韓国語には合成語と派生語で前の単語や接頭辞の最後の音が子音で、後ろに続く単語や接尾辞の初めての音節が‘이[i]，야[ya]，여[ye]，요[yo]，유[yu]’の場合は、‘ㄴ[n]’音を添加して[니[ni]，냐[nya]，녀[nye]，뇨[nyo]，뉴[nyu]]で発音する。また、パッチム‘ㄹ[l]’の後ろに添加する‘ㄴ[n] ’音は‘ㄹ[l] ’で発音する。そして、二つの単語をつなげて発音する場合も同様である。以下‘ㄴ[n] ’が添加される例の一部分を紹介する。

例 4. 솜-이불[som-ipwul]→[솜니불] [somnipwul]
한-여름[han-yelum]→ [한녀름] [hannyelum]
영업-용[yengep-yong]→[영엄뇽] [yengemnyong]
들-일[tul-il]→ [들릴] [tullil]
서른 여섯[selun yeses]→[서른녀섣] [selunnyeses]

このようにハングルつづり法に規定された‘ㄴ[n] ’音の添加は語法に合わせて表記することを原則とする。

しかし、会話のやり取りの中ではハングルつづり法に規定された音の添加現象以外にも音の添加現象が多々起こる。김형정(キムヒョンジョン)(2002:154)は、簡潔性が優先しされる話し言葉で音の添加現象が起こる理由として、流音‘ㄹ[l]’や鼻音‘ㄴ[n],ㅁ[m],ㅇ[ng]’が添加さ

れることによって発音がしやすくなることを挙げている。BTSK ではこのような音の添加現象を話し言葉の特徴の一つと見なし、発話された音をそのまま表記する。

［会話例 22］　音の添加現象 1

発話文番号	話者	発話内容
6	KF17	근데, 그래 가지구서 인제[‘이제’에 ‘ㄴ’음 첨가] 내가 요번주 집에 갔잖아. (ところで、私、今[‘이제[ice]’に ‘ㄴ[n]’音添加]週家に帰ったでしょう。)
7	KF18	어=. （うん=。）

鄭（2004）より

［会話例 23］　音の添加現象 2

発話文番号	話者	発話内容
122	KF14	근데 엄정화 나오는 드라, 영화는 별로 재미없는데. (ところでオムジョンファが出るドラマ、映画はあまり面白くない。)
123	KF13	근데 몰르겠어[‘모르겠어’에 ‘ㄹ’음 첨가], 『홍반장』 은 <되게>{<}【【. (だけど、どうかな[‘모르겠어[molukeysse]’に ‘ㄹ[l]’音添加]、『ホンバンジャン』は<とても>{<}【【。)
124	KF14	】】<근데>{>} 내 친구도 『싱글즈』 되게 재밌다고 그랬는데(응), 『싱글즈』 별로 안 떴잖아. (】】<ところで>{>}私の友達も『シングルス』がとてもおもしろいと言ったが(うん)、『シングルス』あまりヒットしなかったじゃん。)

鄭(2004)より

会話例 22 の ‘인제[ince]’は ‘이제[ice]’に ‘ㄴ[n]’が添加されたものである。また、会話例 23 の ‘몰르겠어[mollukesse]’は、‘모르겠어[molukesse]’に ‘ㄹ[l]’が添加されたものである。

4）子音の濃音化

一般的に子音の濃音化は以下のような場合に起こる。

① パッチム‘ㄱ(ㄲ,ㅋ,ㄳ,ㄺ), ㄷ(ㅅ,ㅆ,ㅈ,ㅊ,ㅌ), ㅂ(ㅍ,ㄼ,ㄿ,ㅄ)’の後ろに来る‘ㄱ,ㄷ,ㅂ,ㅅ,ㅈ は濃音化する。

例）국밥[kwukpap]→[국빱][kukppap]，있던[issten] [인떤][itten]

②語幹のパッチム‘ㄴ(ㄵ), ㅁ(ㄻ), ㄼ, ㄾ’の後ろに結合する語尾の始めての子音‘ㄱ,ㄷ,ㅅ,ㅈ’は濃音化する。

例）신고[sinko]→[신꼬][sinkko]，삼고[samko] →[삼꼬][samkko]

넓게[nelpke]→[널께][nelkke]，핥다[halthta]→[할따][haltta]

③漢字語の中で パッチム‘ㄹ’の後ろに来る‘ㄷ,ㅅ,ㅈ’は濃音化する。

例）갈등[kaltung]→[갈뚱][kalttung]，절도[celto]→[절또][celtto]

④‘-(으)ㄹ’の後ろに来る‘ㄱ,ㄷ,ㅂ,ㅅ,ㅈ’は濃音化する。

例)할 것을[hal-kesul] →[할꺼슬][halkkesul]

갈 데가[kal-teka]→[갈떼가][kalteka]

⑤表記上は‘ㅅ’がなくても冠形格の機能を持つ‘ㅅ’が入るべき合成語の場合は、後ろの単語の‘ㄱ,ㄷ,ㅂ,ㅅ,ㅈ’が濃音化する。

例)문-고리[mwun-koli]→[문꼬리][munkkoli]

눈-동자[nwun-tongca]→[눈똥자][nwunttonca]
(詳細は이희승・안병희（イヒスン・アンビョンヒ）(1996:223-225)を参照)

以上の場合は語法に合わせて書くのを原則とする。

しかし、これらの規則以外にも子音の濃音化現象は、語頭で濃音化が起こる固有語の場合と、語中に起こる漢字語の場合がある。例 6 は、本来なら起こらない濃音化が語頭で起こったものであり、例 7 は語中で起こったものでる。このような場合は発話された通りに表記する。更に濃音化の現象が何らかの機能を持つと考えられる場合は、音声的な特徴も詳しく書いておく。

例 5. 쩡－말 [강조하듯이]　예뻐졌다.
(ほんーとうに[정말[cengmal]]→쩡－말[ccengmal]) [強調するように]かわいくなったね。)
例 6. 효과 보겠네.(効果[효과[hyokwa]→효꽈[hyokkwa]]あるでしょう。)

波線の単語のハングルつづり法に合った表記は、例 6 が「정말[cengmal]」で、例 7 は「효과[hyokwa]」であり、標準語の発音では濃音化が起こらないのが原則である。しかし、発音規則とは関係なく、語頭・語中で「쩡－말[ccengmal]」、「효꽈[hyokkwa]」と強く濃音化されている。このような現象は、発音に忠実にした形で表記したほうがより自然会話の特徴を活かせると考えられる。

5)方言の表記

方言による発話は、基本的にはハングルつづり法に従うが、方言の特徴としてみなされるものは発話とおりに書く。ただし、韻律的な情報までは書かない。

[会話例 24]

発話文番号	話者	発話内容
182	KM7	<1 반>{>}완전 전부 **아들** 다 공부하는 **아들**만 모아 놓은 거 같더라.(<1 組>{>}完全、全部皆勉強する人だけを集めておいたみたいだった。)
183	KM7	쉬는 시간에 갔는데, 전부 다 앉아 같이 다 공부하고 있더라.(休み時間に行ったけど皆座って勉強していたのよ。)
184	KM8	뭐 니도 열심히 한다**아이가**.(なんかお前も頑張ってるじゃん。)
185	KM7	하는 거지 뭐.(やるだけだよ。)

朴(2004)より

会話例 24 は韓国の釜山方言による会話である。発話文番号 182 の「아들」はソウル方言では「아이들」という意味を持つものである。また、発話文番号 184 の「한다아이가」はソウル方言では「하잖아」に表現されるものである。このように、方言の特有の表現は発話とおりに記す。

6)数字の表記

韓国語には漢数字と固有数字があり、助数詞によって数字の読み方が決まっている。しかし、助数詞によっては漢数字と固有数字二通りの読み方を持つものもある。例えば、番号の場合は「1 번⇒일 번」と読み、回数をあらわすときは「1 번⇒ 한 번」と読む。これらを「1 번」のように算用数字を用いて表記する場合、実際発話された発音がどういうものなのか分かりにくい。そこで、BTSK では算用数字で表記した場合、二通りの読み方の可能性を持っている数字に関してはハングルで表記するが、「%」「cm」のような単位記号と一緒に使う場合など、一つの読み方しか持っていない数字の表記に関しては読みやすさのため、算用数字を用いて表記する。

例 7.　「1%」⇒1 퍼센트、「2cm」⇒2 센치

以下、数字がハングルで表記された会話例を示す。

［会話例 25］

発話文番号	話者	発話内容
313-3	KF14	강촌도 가고, 저기 섬도 가고, 한 **네 번** 간 거 같은데. （カンチョンにも行って、あそこの島にも行って、おおよそ 4 回行ったようだが。）
316	KF13	너 다 갔어?, 갈 때<마다>{<}. （あなた全部行った?、行く<度に>{<}。）
317	KF14	<아니>{>}, **두 번**.（<いや>{>}、2 回。）
318	KF13	**두 번**.（2 回。）
319	KF14	아니야.（違うよ。）
320	KF13	/침묵 2 초/뭐?.（/沈黙 2 秒/何?。）
321	KF14	감, 아니야, 강촌 안 갔, **두 번** 갔나??, **세 번** 갔나, 아무튼.（カム、いや、カンチョンに行かなかった、2 回行ったか??、3 回行ったか、とにかく。）
322	KF14	원래 첫번째가 제일 재미있는거야.（元々最初が一番面白いわけ。）

鄭（2004）より

7）長音の表記

同じ音がはっきりと発話された場合は発話されたとおりに表記するが（会話例 26）、最後を伸ばす感じで発話された場合は伸ばされた拍数に相当する数の「ー」を入れる（会話例 27）[8]。

［会話例 26］同じ音がはっきりと発話された場合

発話文番号	話者	発話内容
16	KOM01	/침묵 3 초/지금 일, 일어 전공하셨어요?. （/沈黙 3 秒/今、日、日本語専攻されたんすか？。）
17	KBF01	**예예**. （はいはい。）

宇佐美研究室(2001)より

［会話例 27］　最後を伸ばす感じで発話された場合

発話文番号	話者	発話内容
313	KF03	/잠시간격/쫌만 있다가, 세일할 때 샀어=.（/少し間/ちょっとだけ待ってて、バーゲンの時買ったの=。
314	KF04	=**아–**, 백화점 가고 **싶다–**=. （=あ–、デパート行きたい–=。）

鄭（2004）より

[8] 本稿では눈(目)と눈:(雪)のような単語の意味の区別の働きをする長音は取り扱っていない。

8)正しい語法ではないが、幅広く使用されている表現

日常会話の中で交わされる会話には、語形混乱によることばの間違った使い方がしばしば現れる。本稿では実際の文字化作業で現れた「가리키다」と「가르치다」の語形混乱の表記について考えてみる。

［会話例 **28**］

発話文番号	話者	発話内容
15	KBF03	지금, 무슨 일 하세요？. （今、どんな仕事されてるんですか？。）
16	KSF01	예－, 저 그냥 학교에서, 일본어 **가리키고** 있습니다. （はいー、あのただ学校で、日本語教えて［kalikhiko：本来の意味は‘指す’］います。）
17	KSF01	그쪽은－, 어떤 일－하십<니까？>{<}. （そちらはー、どんな仕事ーされて<るんですか？>｛<｝。）
18	KBF03	<저두>{>} 일본어 **가르치거든요**. （<私も>｛>｝日本語教えてるんですよ［kaluchiketunyo：正しい使い方］。）
19	KSF01	예？,어유－일본어요？<둘이 웃음>. （はい？、あー日本語ですか？<二人で笑い>。）
20	KSF01	아이－일본어 **가리치시니까** 어떠세요？,**가리치시기**. （あー、日本語教えられて［kalichisinikka：가르치다と가리키다の混合形］いかがですか？、教えること［kalichisiki：가르치다と가리키다の混合形］。）
21-1	KBF03	재밌어－,**가리치는** 거 자체는 참 재미있어하고－,, （楽しいー、教える［kalichinun：가르치다と가리키다の混合形］こと自体はすごく楽しんでいてー, ,）
22	KSF01	아－. （あー。）
21-2	KBF03	재밌어요＝. （楽しいです＝。）
23	KBF03	＝실제로 **가리치는** 걸 좋아하고, (응－) 재밌고. （＝実際に教える［kalichinun：가르치다と가리키다の混合形］のが好きで、（うんー）楽しくて。）

宇佐美研究室(2001)より

会話例 28 では、「教える」という意味の単語が何度も用いられているが、正しく発話されているのは、発話文番号 18 の「가르치다[9][kaluchita]」のみである。発話文番号 16 では「가리키다[kalikhita]」と発話されているが、これは「指さす」という意味の単語である。しかし、「教える」の意味でこのように発話する場合も多い。また、発話文番号 20, 21-1, 23 では「가리치다[kalichita]」と発話された「가르치다 [kaluchita]」と「가리키다[kalikhita]」の混合形が現れている。このような発話現象は会話の流れから意味の把握に問題がないのでそれぞれ発話さ

[9] ここでは動詞の基本形を用いて説明していくことにする。

れた通りに表記する。

6.3　記号について

発話された音声やそれに関する情報を文字化資料として記述するには、それらの情報を表すための記号を用いることが必要である。そこで次に、直接引用部、音声的情報、周辺言語情報、プライバシー保護といった、発話に関するさまざまな情報を記述する際に必要な記号を提示していく。さらに、発話内容を何らかの観点からコーディングする場合に便利な記号の提示も行う。記号に関しては一部を除いて宇佐美(1997、2003、2006、2007)の BTSJ と同様に表記する。

6.3.1　直接引用部

引用とはある発話・思考の場で成立した（あるいは成立するであろう）発話・思考を新たな発話・思考の場に取り込む行為である（鎌田、2000:17）。会話における話者本人のスピーチレベルの選択を分析するなど、研究目的によっては、発話文中から、直接引用部を区別しておく必要がある場合がある。そこで BTSK では、間接引用に対し、ある場面において発せられた話者自身や話者以外の者の思考・判断・知覚などの内容を、現在の発話の場面において、その時発せられたかのように発話している部分を、直接引用部と定義し、その部分を″　″でくくることにする。

その発話が直接引用されたものかどうかは、声の調子や言葉遣いの変化などから判断する。

しかし、中西(2004:112)は被引用文の指示詞や時制を置き換えることが厳密に要求されない韓国語においては、直接引用と間接引用の区別が難しいと指摘している。そして、直接引用の形式を借りながらも、話者との関係から推して元の発言者がそのような待遇法(下称形)を用いなかったことが明らかな場合、あるいは、実質的には間接引用でありながら指示詞の間接化が不十分な場合などを「準間接引用」と呼んでいる。

例 **8**. 정 장군은 ″그 때 김재규의 목소리는 정중하고 평상 그대로였다″고 기억하면서 ″나는 지금도 김재규가 나와 먼저 저녁 약속를 했고 그 직후에 대통령과 만찬이 있다는 통보를 받았다고 믿고 있다″고 했다.
(鄭将軍は″そのとき金載圭の声は丁寧でまったくいつもどおりだった″と回想し、″私は今でも金載圭はまず私と夕食の約束をし、その直後に大統領との晩餐があるとの連絡を受けたものと信じている″と語った。）　中西(2004:113)

このように鄭将軍が自身を「나(私)」と自称していること、「지금(今)」のように発話時の時制をもちいつつも、「그대로였다(いつもどおりだった)」、「믿고 있다(信じている)」のように下称終止形が用いられ間接引用の形式を持つものを「準間接引用」としている。本稿では、中西(2004)が指摘している「準間接引用」は間接引用として扱う。

［会話例 **29**］

発話文番号	話者	発話内容
203	KF18	반면에 또 따른 내 친구는 과외가 한 적이 없는데 언니가 하다가 언니가 못 해서 그냥, 자기가 맡게 됐다, 수학을 하는데. (しかし、別の友達のことだけど、家庭教師なんかやったこともないのに、お姉さんがやってたのを引き継ぎでやるようになったの、数学をやってるけど)

204	KF18	한 시간 딱 끝나고 나니깐, **"저희 안 할래요"**<웃음><이러드래>{<}. (1 時間目が終わったら、“私たちもうやりたくないです”<笑い>と<言われたそうよ>{<}。
205	KF17	<웃으면서><어이>{>} , 진짜?.（<笑いながら><おっと>{>}、本当に？。）

鄭(2004)より

発話文番号 204 の「저희 안 할래요」では、待遇表現と人称、時制の入れ替えが起きず、元の発話者の発言をそのまま再現している直接引用文なので″저희 안 할래요″のように″ ″の中に表記する。

［会話例 30］

発話文番号	話者	発話内容
44	KF15	"어디야?" 이랬더니, "어 「지역 02 명」이야" 이러는 거야=. （“どこなの?”と聞いたら、 “うん「地域 02 人」だよ”と言っているの=。）
45	KF16	=으-응=.[↑] (=あーそう=。[↑])
46	KF15	="어, 벌써?" 그랬더니 <u>어, 나 지하철 첫차<웃으면서></u> $\boxed{\text{탄다}}$ 이러는…. (=“あ、もう?”といったところ うん、私、初電に<笑いながら>乗るよと…。）
47	KF16	헤에-.[놀란듯이] へ-。[驚いたように]

鄭(2004)より

発話文番号 44 と 46 の波線の部分は発話時点の時制や話し方がそのまま再現されている直接引用文である。しかし、発話文番号 46 の二重線の部分は、人称の入れ替えはないものの、文末に叙述系が使われている。おそらく、文末表現は「타(乗る)」、「타는데(乗るけど)」であろう[10]。このような例は中西(2005)の「準間接引用」に該当するものであり、BTSK では″ ″の中に入れない。

6.3.2 音声的情報

BTSK では、発話の文脈や状況をできるだけ正確に伝えるための音声的情報として、イントネーション、ポーズや沈黙、ラッチング、言いよどみ、発話の重複、聞き取り不能な音などを記述する。そのために、BTSK では以下の記号を用いて音声的・非音声的情報を表す。以下、順に説明する。

1）イントネーション

イントネーションは、特記する必要があると判断したものを、[↑][→][↓]で表す（例 9）。また、確認などのために語尾を上げる、いわゆる「半疑問文」には、「??」をつける（例 10）。

[10] 文末を「탄다(乗る)」と発話し、「直接引用」の可能性もあるが、本稿では、「準間接引用」の例として挙げている。

例 9.　特記する必要のあるイントネーション

A　그럼, 하는 일이 그게 전부?. [→]

（じゃあも、やっている仕事ってそれが全部?。［→］）

例 10.　半疑問文

A　아뇨 전, 어- **명동??**, 이에요.

（いえ、私は、あー明洞??、なんです。）

2）間、沈黙

話のテンポの流れの中で、少し「間」が感じられた際は、/少し間/と記すが、原則として、1 秒以上の「間」は、沈黙としてその秒数を「/沈黙　1.5 秒（秒数）/」のように記す。沈黙自体が何かの返答になっているような場合は 1 発話文として扱い 1 ライン取るが、基本的には、沈黙後に誰が発話したのかが分かりやすいように、沈黙を破る発話のラインの冒頭に記す。

例 11.　2 人の発話の間に，沈黙が 5 秒あった場合

1A　저기-, 2 달에 한번이에요.

（あのー、2 ヶ月に 1 回です。）

→2B　**/침묵 5 초/** 그렇구나。

（/沈黙　5 秒/そうなんだ。）

3）ラッチング

改行される発話と発話の間が、当該の会話の平均的な間の長さより相対的に短いか、間がまったくないことをラッチングとして、「=」という記号を用いて表す。これは、2 つの発話（文）として、改行されていても、それら 2 つが音声的にほとんど間がなくつながって発話されたことを示すためである。改行されている 2 つの発話のラッチングは、同一話者のものにも、そうでない場合にも適用される。ラッチングは、最初のラインの終わりに「=」をつけ、続くラインの冒頭にも「=」をつける[11]ことによって表す。

例 12.　→1 A　어쩔수 없잖아요=.

（だってしょうがないでしょう=。）

→2A　=본인이 그렇게 말했어.

（=本人がそう言ったの。）

4）言い淀み

発話文中、文末に関係なく、音声的に言い淀んだように聞こえるものには「…」をつける。もし言い淀みが発話文中にあれば、「…」に読点をつけ「…、」という形にし、その後の語句を続けて記入する。

音声的に言い淀んだように聞こえるものがあった場合

例 13.　A　종로면은, **버스…**, 인가요?.

[11] 表計算ソフトでは「=」が数式と判断される。それを避け文字として認識させるため，「=」の前に「’」（アポストロフィー）をつけるなどの処置をする。こうすると，紙面上には「=」だけが表れる。

（チョンロですと、バス…、ですか?。）

例 14.　A　여러가지 문제가 있어서 아직 **학교는…**.

（いろんな問題があるので、まだ学校は…。）

5）発話の重複

同時発話されたところは、重なった部分双方を〈　〉でくくり、重ねられた発話には、〈　〉の後に、{〈}をつける。また重ねた方の発話には、〈　〉の後に、{〉}をつける。

例 15.　2 人の発話が一部重なった場合

→1A　잘 **<부탁합니다>{<}.**

（よろしく〈お願いします〉{〈}。）

→2B　**<저야말로>{>}**잘 부탁합니다,

（〈私こそ〉{〉}宜しくお願いします。

6）聞き取り不能

聞き取り不能であった部分に、その部分の推測される拍数に応じて、#マークをつける。

例 16.　A　나는 뭐, ####전혀 없거든.

（僕はなんか、#####全くないもんね。）

6.3.3　周辺言語情報

笑いや、相手の発話に重なる短いあいづちなどの周辺言語情報については、以下のように記す。また、「文脈情報」は、分析者の覚書きとして、分析者が必要だと判断した情報を、分析者自身が分かりやすい書き方で、記しておく。

1）相手の発話に重なる、短いあいづち

相手の発話に重なる、短く、特別な意味を持たないあいづちは、相手の発話中の最も近い部分に、（　）にくくって入れる。

例 17.　A　저는, 저기, 고등학교까지 서울에**(아–)** 살았거던요.

（わたしは、あの、高校まではソウルに（あー）住んでいたんです。）

2）笑い

笑いながら発話したものや笑い等は、〈　〉の中に、〈웃으면서（笑いながら）〉、〈둘이 웃음（2 人で笑い）〉などのように説明を記す。笑いが比較的はっきりと聞こえる場合は、〈하하하하（ははははは）〉などのように記す。笑い自体が何かの返答になっているような場合は1発話文とするが、基本的には、笑いを含む発話中か、その発話文の最後に笑いに関する情報を記し、その後に句点をつける。

例 18.　A　의외로 집중 잘 하시네요**<웃음>**.

（意外と集中できるんですねえ〈笑い〉。）

例 19.　A　자원을 효율적으로 쓰려면 <웃으면서>그럴 수밖에 없으니까요.

（資源効率的に使おうと思えば、<笑いながら>それしかないわけですから。）

また、相手の発話の途中に、相手の発話と重なって笑いが入っている場合は、短いあいづちと同様に扱って、（〈웃음〉）（〈笑い〉）とする。

3） 文脈情報

その発話がなされた状況ができるだけ分かりやすくなるように、音声上の特徴（アクセント、声の高さ、大小、速さ等）のうち、特記の必要があるものなどを、研究者が分析の際に活用できるようメモとして記しておく。

例 20 ［속삭이듯이］、 ［숨을 들이쉬면서］、［큰소리로↑］、［음료수를 마시는 소리］、［불만을 토로하듯이］등.
（［ささやくように］、［息を吸い込みながら］、［大きい声で↑］、［飲み物を飲む音］、［不満を打ち明ける感じで］等。）

また、会話の雰囲気や文字化資料を読むだけでは分かりにくい発話について説明を記する。

例 21. A 제도 알겠어?. ［유학하게 될 일본어반의 레벨을 어떻게 나누는지를묻고 있음］（制度わかる?。［留学先の日本語クラスのレベル分けを知っているかと尋ねている］）

6.3.4 プライバシー保護

会話の内容は協力者のプライバシーに関わるため、BTSK では、会話の内容をそのまま文字化したトランスクリプトと、公開用のトランスクリプトと、二通りのトランスクリプトを用意する。公開用トランスクリプトでは、協力者のプライバシーに関わる固有名詞などを明記しないようにする。例えば、初対面の会話においては、話者の名前の説明が行われたり、それにまつわるエピソードが話題になったりすることがあるが、そのような場合の、プライバシー保護を考慮した表記の例を以下に示す。また、その他の固有名詞（「기업명（企業名）」「대학명（大学名）」「지명（地名）」など）についても、会話の流れから協力者が特定できる場合には、話者の名前と同様に明記しないように処理する。

① BTSK では、公開用のトランスクリプトにおいて、話者は、アルファベットなどに記号化して示すことを原則とする。その際に、話者の属性を表す記号を用いると話者同士の関係がすぐわかり、便利である。例えば、ある男性話者の言語行動が異性の対話相手の年齢に応じてどのように変化するかを分析する際、その男性の話者を、BM(Base Male）とし、対話相手となる年上の女性を OF（Older Female）、同年の女性を SF（Same-age Female）、年下の女性を YF(Younger Female) などと記号化する。また、日本語と韓国語の対照研究をする場合は、日本語母語話者を J(Japanese)、韓国語母語話者を K(Korean)としたり、母語話者と学習者の会話を研究対象とする場合は、母語話者を NS（Native Speaker）、学習者を NNS（Non-Native Speaker）としたりするなど、任意の記号を用いて表す。目的に応じては、「A」「B」といったアルファベットを用いても、「田中」「佐藤」などの仮名を用いて表してもよい。

② 名乗り方に応じて、「BM03 전체 이름（フルネーム）」というように記す（例 22、例 23）。

③ 「회사명（会社名）」や「대학명（大学名）」などの組織の名称、話者の出身県を含む「지명（地名）」等の記述に関して、話者のプライバシーに関わる場合は、「지명 1（地名 1）」のように伏せて記す。（例 24）。

●話者の名前が話題になっている場合

例 22. <u>名乗り方に応じた記し方</u>

＜音声を忠実に文字化したトランスクリプト＞

例 22‐1 OF01 /침묵 6 초/**김 수미**라고 합니다.
（/沈黙 6 秒/キムスミと言います。）

＜公開用トランスクリプト＞

例 22‐2　OF01　　/침묵 6 초/「**OF01 전체 이름**」(이)라고 합니다.

/沈黙　6 秒/「OF01 フールネーム」と言います。

例 23.　自分の名前に使われる母音の説明

＜音声に忠実に文字化したトランスクリプト＞

例 23-1　OF01　**채영신**입니다.

OF01　'아' '이'의 채예요.

＜公開用トランスクリプト＞

例 23-2　OF01　「**OF01 전체 이름**」입니다.

OF01　'아' '이'의 「**OF01 의 성**」예요.

●名前以外に、会話の流れから協力者が特定できる可能性のある固有名詞の場合

例 24.　BM01　그럼, 옛날에「기업명」이 있었던 <곳? >{<}.

（なら、昔「企業名」があった<ところ?>{<}。）

SF01　<그래>{>}요,「**지명 1**」이에요.[BM01 이 숨을 들여 쉬는 소리].

<そう>{>}です、「地名 1」です[BM01 が息を吸う音]。

6.3.5 その他

視覚上、区別した方が分かりやすいと思われるものには、本や映画の題名（会話例 31）のような固有名詞や、発話者がその発話の中で漢字の読み方を説明した部分等（会話例 32）があるが、それらは、『　　』でくくる。

[会話例 31]

発話文番号	話者	発話内容
8	KF13	너무 슬프더라 진짜.(とても悲しかったよ本当。)
9	KF14	슬프지=.(悲しいでしょう。)
10	KF14	=야, 원래 『**천국의 계단**』 이 슬프잖아.(元々『天国の階段』って悲しいから。)

鄭(2004)より

[会話例 32]

発話文番号	話者	発話内容
8	KBM01	한자로 어떻게 되시는데요?.（ 漢字ではどう書くんですか。）
9-1	KSF02	어, 고요할 『**KSF02 의 한자 1**』자에,, （あの, 静かの『 KSF02 の漢字 1 』に, , ）
10	KBM01	예.（はい。）
9-2	KSF02	뻗을『**KSF02 의** **한자 2**』자요.（延びるの『KSF02 の漢字 2』です。）

宇佐美研究室(2001)より

6.3.6　記入しないセルにつける記号

発話文終了や、コーディングにおいてコードを記入しない場合には、記載漏れとの混同をさけるため半角の「/」（スラッシュ）を入れる。2.4.1 で示したように、発話文終了記号を記入しない場合には、セルに「/」を記入する。また、コーディングを行わないラインにも用いる。例えば、スピーチレベルのように発話文ごとにコーディングを行う場合、発話文が終わってい

ないライン、すなわち末尾に「,,」があるラインは、コーディングの対象とならないため空欄になる。このように、部分的に空欄があると、コーディングをし忘れた欄であるかのような誤解を生んだり、コーディングを行うべきラインがずれるというミスを誘発したりする。それを防ぐために、コーディングを行わないラインについては、「/」を入れることにする。

表 3 コーディングを行わないラインのセルに半角/（スラッシュ）を入れた場合

ライン番号	発話文番号	発話文終了	話者	発話内容	発話文全体POL	発話文末POL
54	51	*	KBF01	아, 근데 아직 결혼 안, 하신 거죠?.（さて、まだ結婚なさってないんですよね？。）	S	P
55	52	*	KSF01	아이, 못 했어.（いや、できなかった。）	N	N
56	53	*	KSF01	남자가 없어요.（ 相手がないんです。）	P	P
57	54-1	/	KBF01	왜, 그 매력 있는,,（なんで、あの魅力ある,,）	/	/
58	55	*	KSF01	아, 왜 그러세요.（いじめないでください。）	S	P
59	54-2	*	KBF01	<웃으면서>성격과 외모를 가지셨는데, <왜 그래요?>{<}.（<笑いながら>性格と外見をそなえていらっしゃるのに、<どうしたんですか?>{<}。）	S	P

宇佐美研究室(2001)より

7 記号凡例

これまでに提示してきたBTSKで用いられる記号を以下にまとめる。はじめに、BTSKに基づいて文字化する際の基本的な記号を挙げる。

尚、以下の記号は、「検索」などの際に漏れがないよう、但し書きのあるもの以外は、「半角」で統一することを原則とする。

発話文終了に関する記号

* 発話文が終了するごとに、「*」を「発話文終了」セルに記入する。つまり、発話文番号と発話内容中の句点「. 」と「*」の数は必ず一致する。このように、「発話文終了」と「発話内容」と2つのセルで二重に確認する。

/ 発話文終了や、コーディングにおいてコードを記入しない場合には、記載漏れとの混同をさけるため、「/」を記入する。

発話内容の記述に関する記号

. 1発話文の終わりにつける。

, , 発話文の途中に相手の発話が入った場合、前の発話文が終わっていないことをマークするためにつけ、改行して相手の発話を入力する。

,　　①1 発話文および 1 ライン中で、韓国語表記の慣例の通りに読点をつける。
②発話と発話のあいだに短い間がある場合につける。

‘　’　　通常とは異なる発音がなされた場合など、音の表記だけでは意味が分かりにくい発話は、‘　’の中に正式な表記をする。

?　　疑問文につける。疑問の終助詞がついた質問形式になっていなくても、語尾を上げるなどして、疑問の機能を持つ発話には、その部分が文末(発話文末)なら「?.」をつける。倒置疑問の機能を持つものには、発話中に「?,」をつける。

??　　確認などのために語尾を上げる、いわゆる「半疑問文」につける。

[↑][→][↓]　イントネーションは、特記する必要のあるものを、上昇、平板、下降の略号として、[↑][→][↓]を用いる。

/少し間/　　話のテンポの流れの中で、少し「間」が感じられた際につける。

/沈黙　秒数/　1 秒以上の「間」は、沈黙として、その秒数を左記のように記す。沈黙自体が何かの返答になっているような場合は 1 発話文として扱い 1 ライン を取るが、基本的には、沈黙後に誰が発話したのかを同定できるように、沈黙を破る発話のラインの冒頭に記す。

=　=　　改行される発話と発話の間（ま）が、当該の会話の平均的な間（ま）の長さより相対的に短いか、まったくないことを示すためにつける。これは、2 つの発話(文)について、改行していても音声的につながっていることを示すためである。その場合、最初のラインの発話の終わりに「=」をつけてから、句点「.」または英語式のコンマ 2 つ「,,」をつける。そして、続くラインの冒頭に「=」をつける。

…　　文中、文末に関係なく、音声的に言いよどんだように聞こえるものにつける。

〈　〉{〈}
〈　〉{〉}　　同時発話されたものは、重なった部分双方を〈　〉でくくり、重ねられた発話には、〈　〉の後に、{〈}をつけ、そのラインの最後に句点「.」または英語式のコンマ 2 つ「,,」をつける。また重ねた方の発話には、〈　〉の後に、{〉}をつける。

【【　】】　　第 1 話者の発話文が完結する前に、途中に挿入される形で、第 2 話者の発話が始まり、結果的に第 1 話者の発話が終了した場合は、「【【　】】」をつける。結果的に終了した第 1 話者の発話文の終わりには、句点「.」の前に【【　をつけ、第 2 話者の発話文の冒頭には 】】 をつける。

[　　]　　文脈的情報。その発話がなされた状況ができるだけわかりやすくなるように、音声上の特徴(アクセント、声の高さ、大小、速さ等)のうち、特記の必要があるものなどをそのラインの一番最後に記しておく。

(　　)　　短く、特別な意味を持たない「あいづち」は、相手の発話中の最も近い部分に、(　　)にくくって入れる。

〈　　〉　　笑いながら発話したものや笑い等は、〈　　〉の中に、〈笑いながら〉、〈2 人で笑い〉などのように説明を記す。笑い自体が何かの返答になっているような場合は 1 発話文となるが、基本的には、笑いを含む発話中か、その発話文の最後に記し、その後に句点「.」または英語式のコンマ 2 つ「,,」をつける。

(〈　〉)　　相手の発話の途中に、相手の発話と重なって笑いが入っている場合は、短いあいづちと同様に扱って、(〈笑い〉)とする。

″　″　　発話中に、話者以外の人の発話が直接引用された場合、その引用された部分を″″でくくる。

『　　』　　視覚上、区別した方が分かりやすいと思われるもの、例えば、漢字の読み方を説

明する部分、本の題名等や、話者自身の発話を引用した場合などは、その部分を『　　』でくくる。

#　　聞き取り不能であった部分につける。その部分の推測される拍数に応じて、#マークをつける。

「　　」　　トランスクリプトを公開する際、固有名詞等、被験者のプライバシーの保護のために明記できない単語を表すときに用いる。

8　入力書式

トランスクリプトの共有のため、また、複数の研究者が処理を行う際の効率化のため、入力書式を統一しておくことを勧める。基本的には、韓国語の一般的な表記の原則に基づいて、ハングル及び付属記号(読点「,」句点「.」)を使用する。トランスクリプトの保存にあたっての詳細な形式は、以下の通りに統一する。

8.1　保存形式

基本的に、1 つのトランスクリプトを 1 つのシートに保存する。その際、共有された複数のトランスクリプトから個別のものを区別・認識するために、各トランスクリプトには話者の記号、作成者の氏名、日付(年・月・日；　00 年 00 月 00 日)を記して保存する。

例 25.　　BF01-SM03　김영희　020628

(BF01 と SM03 は話者を示すための記号の 1 例である ： 以下同様)

ただし、作業途中のトランスクリプトについて、1 会話に複数の作業者がいる場合や 1 人の研究者が複数のトランスクリプトを処理している場合は、会話別に文字化の作業順番・作成者の氏名を明記し、異なる保存名で残す。

例 26.　　BF02-SM03　(1 次)　성춘향　020628
　　BM01-SF01　(2 次)　홍길동　020724

8.2　書式の設定

ブックの中のシートの書式は以下のように統一する。

1) シートのヘッダー： シートの上部、中央に話者記号を記す。さらに、文字化した部分の開始からと終了までの時間を正確に測り、(　)の中に記入する。そして、会話が最後まで文字化された場合は「終」と記し、続きがある場合には「続」と記す。また、どのような目的によって収集された会話かということや、話者の記号の意味を記することを推奨する。

例 27.　　BF01-SM03(0’00”-3’20”:　続)

(BF01 と SM03 の会話を最初から 3 分 20 秒まで文字化したが、その後に文字化されていない部分が残っていることを表す。)

また、会話の情報(会話を収集した目的、全何会話のうちの何会話目か、話者の属性、話者の記号の意味等)を書く。

2) シートのフッター： シートの右下には、このシートに関する文字化の作業情報を、作業次数、作業者の氏名、作業を終えた日付の順に記しておく。文字化作業が複数回、または複数の作業者によって行われた場合は、前に行われた文字化作業情報の後に最新の情報を付けたし明記する。

例 28. 1 次：　성춘향(030915)、2 次：홍길동(030925)、3 次：황진이(031001)

3)　シートの余白: 原則として、上は 3 センチ、下は 2 センチ、左右は 2 センチに設定する。

4) フォント: 「Batang」、サイズは 10 を採用する。

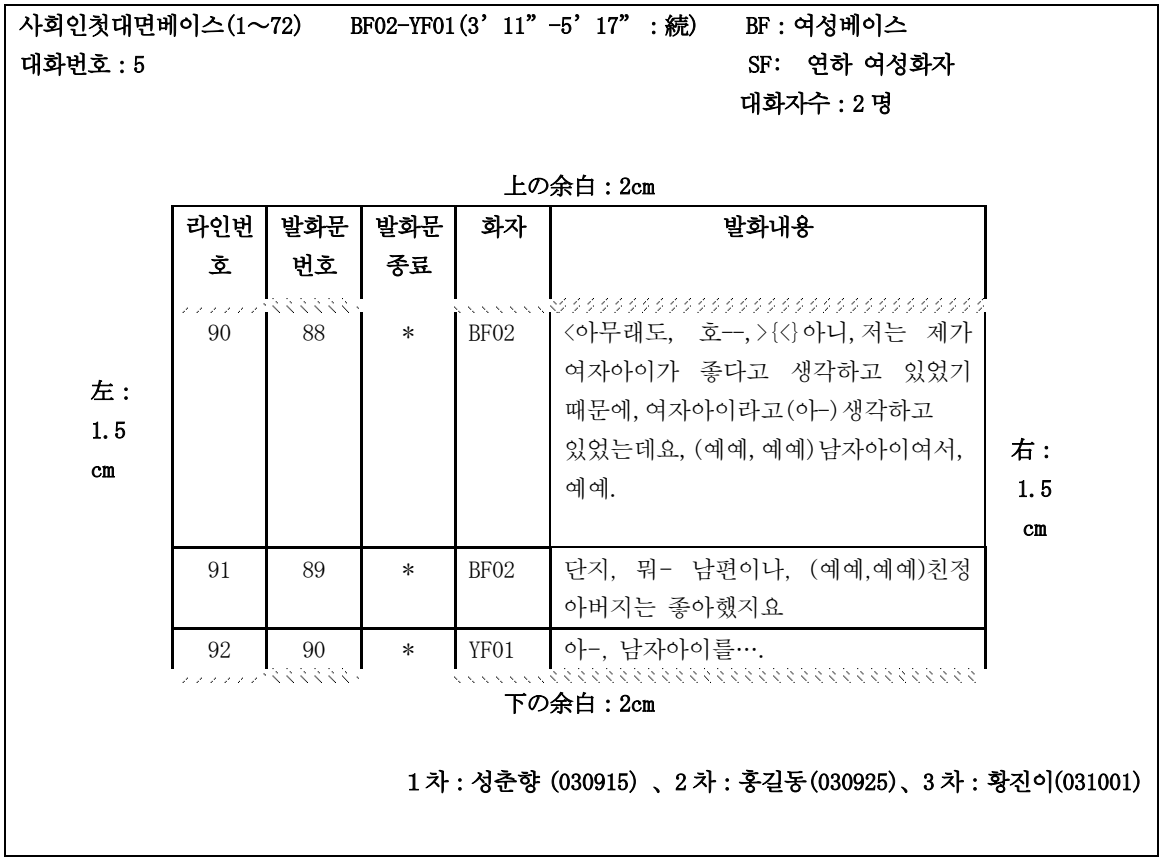
5) セルの基本項目： 「ライン番号」「発話文番号」「発話文終了」「話者」「発話内容」の 5 つを設ける。「ライン番号」「発話文番号」「発話文終了」項目は上述した説明にしたがって記入する。「話者」項目には、各々の話者名を記号化し、記入する。「発話内容」項目

には、録音された会話を文字化したものを記入する。

6) セルの幅: 原則として、「発話内容」項目のみ 55、他の項目はすべて 5 に統一する。また、「書式設定」で「折り返し表記する」を選択し、幅を調整する。

7) 色分け： どの話者による発話であるかが分かりやすいように、各ラインを、話者ごとに色分けする。

以下、図 1 に全体の書式、表 4 にトランスクリプト例を示す。



라인번호	발화문번호	발화문종료	화자	발화내용
90	88	*	BF02	<아무래도, 호—,>{<}아니,저는 제가 여자아이가 좋다고 생각하고 있었기 때문에,여자아이라고(아-)생각하고 있었는데요,(예예,예예)남자아이여서, 예예.
91	89	*	BF02	단지, 뭐- 남편이나, (예예,예예)친정 아버지는 좋아했지요
92	90	*	YF01	아-, 남자아이를….

図 1.　全体の書式

表 4　トランスクリプト例

라인번호	발화문번호	발화문종료	화자	발화내용
1	1	*	KOM01	안녕하세요=.
2	2	*	KOM01	=처음 뵙겠습니<다->{<}.
3	3	*	KBF01	<네->{>}.
4	4	*	KBF01	/조금 간격/ 저「KBF01 전체 이름」이라고 하는데요.
5	5	*	KOM01	「KBF01 전체 이름」씨요？.[↑][끝을 살짝 올리며]
6	6	*	KOM01	저「KOM01 전체 이름」라고 합니다.
7	7	*	KOM01	/침묵 6 초/ 긴장되죠?=.

8	8	*	KOM01	=쉽지 않은 대화입니다, <그죠?>{<}.
9	9	*	KBF01	<네->{>}<둘이서 웃음>.
10	10-1	/	KOM01	아,(네) 저쪽에서도 한 번 해 봤는데,,
11	11	*	KBF01	네.
12	10-2	*	KOM01	뭐 또 엉뚱한 얘기만 하다가 왔는데.(네)
13	12	*	KOM01	<저는…【【>{<}.
14	13	*	KBF01	】】<그런 말 >{>}하지 말라고 그렇게 써 있던데요, <주의사항에>{<}.
15	14	*	KOM01	<그렇습니까?>{>}.
16	15	*	KBF01	네<웃음>.
17	16	*	KOM01	/침묵 3 초/지금 일, 일어 전공하셨어요?.
18	17	*	KBF01	예예.
19	18	*	KOM01	어-.
20	19	*	KBF01	일본어 강사하고 있죠.[끝 부분 작은 소리로]
21	20	*	KOM01	아-,그러시구요.
22	21	*	KOM01	아,「대학명」에서요?.
23	22	*	KBF01	예,「대학명」에서요.
24	23	*	KOM01	잘 부탁드립니다=.
25	24	*	KOM01	=반갑습니다.
26	25	*	KBF01	예<웃음>.[조금 쑥스러운 듯이]
27	26	*	KOM01	저는, 여기「학부명」출신입니다.
28	27	*	KBF01	아-.
29	28	*	KOM01	76 학번이구요.
30	29	*	KBF01	76 학번이세요?.
31	30	*	KOM01	네.
32	31	*	KBF01	와-, 저하고 딱 10 년,<이네요>{<}.
33	32	*	KOM01	<그렇습>{>}니까?.
34	33	*	KBF01	예, 전 86 학번<웃음>.

宇佐美研究室(2001)より

9. 終わりに

本稿は BTSJ の韓国語版の作成に向けて検討したことをまとめたものである。

まず、BTSJ の分析単位である「発話文」について、韓国語の文字化にも適用できるだろうという結論に至った。また、表記方法や韓国語の独自の固有名詞、記号などの一部の表記以外は、BTSJ のルールの殆どが韓国語にも適用可能と考えられた。表記法については、現段階では、話し言葉の特徴を生かしつつ発話内容を分かりやすくするには、ハングルつづり法と発話された通りに表記する方法を併用することが有効であろうと考える。

そして、本稿で述べてきた BTSK の作成に向けての検討事項は、あくまでも現段階での韓国語における文字化方法の一つのやり方であることを断っておきたい。今後さらなる改善が必要である。

付記

本稿をまとめるにあたって、以下の先生方から貴重なコメントを頂きました。心より感謝申し上げます。

・南潤珍教授　　（東京外国語大学）
・任栄哲教授　　（韓国中央大学校、日本国立国語研究所）

引用文献

이승구・이인제・최용기(2001)『우리말 우리글 바로쓰기 사전 띄어쓰기 편람』대한교과서

이희승・안병희(1996)『한글맞춤법 강의』(1989 년초판) 신구문화사

宇佐美まゆみ (1997)「基本的な文字化の原則の開発について」『日本語母語話者日本語母語話者の談話行動のスクリプト･ストラテジーの研究とマルチメディア教材の試作』 文部省科学研究費基盤研究(C)研究成果報告書　8-22

———(1999)「談話の定量的分析-言語社会心理学的アプローチ - 」『日本語学』18 (11)　40-56

———(2003)「改訂版：基本的な文字化の原則（Basic Transcription System for　Japaese:BTSJ）」『多文化共生社会における異文化コミュニケーション教育のための基礎的研究』平成 13-14 年度 科学研究費補助金基盤研究 C (2) (研究代表者 : 宇佐美まゆみ)研究成果報告書 4-21

———(2006)「改訂版 : 基本的な文字化の原則（Basic Transcription System for　Japanese:BTSJ）」『自然会話分析への言語社会心理学的アプローチ』宇佐美まゆみ(編)、21 世紀 COE プログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」東京外国語大学（TUFS）大学院地域文化研究科

Edwards, J. A.（1993）　Principles and Contrasting Systems of Discourse Transcription. In Edwards, J. A. & Lampert, M. D.(eds.) *Talking Data: Transcription and Coding in Discourse Research*. Pp.1-31 Lawrence Erlbaum Associates, Publishers.

鎌田修（2000）『日本語の引用』ひつじ書房

김선희・오승신（2002）「음성 말뭉치의 구축」『한국어 구어 연구(1)-구어 전사 말뭉치와 그 활용』 한국문화사

金珍娥（2006）「日本語と韓国語の談話における文末の構造」東京外国語大学大学院　地域文化研究科博士後期課程博士論文

김형정 (2002)「구어 전사 말뭉치의 표기 방법」『한국어 구어 연구(1)-구어 전사 말뭉치와 그 활용』 한국문화사

국립국어연구원(1995) 『한국 어문 규정집』 국립국어연구원

전영옥(2002)「구어 원시 말뭉치 구축 방법」『한국어 구어 연구(1)-구어 전사 말뭉치와 그 활용』 한국문화사

中西恭子(2004)「現代朝鮮語の引用構文について」『朝鮮語研究』2　くろしお出版

연규동 (1998) 『[통일 시대]의 한글 맞춤법』박이정

会話例の出典

鄭榮美（2004）『自然会話における『誘い』の日韓対照研究』東京外国語大学大学院修士論文

朴銀南（2004）「高校生の会話における「なんか」と「뭐（Mwue)」の日韓対照研究」『日本語教育年報』8（2003 年度版）東京外国語大学日本課程・留学生課共編 83-104

宇佐美研究室(2001)　韓国人の社会人初対面二者間会話